外国人と人権~多文化共生のまちづくりをめざして~

小郡市には、留学や技能実習などの目的で、ネパールやフィリピン、ベトナムなど 27か国、1016人(平成30年12月末現在)の外国人が暮らしています。

外国人の中には、日本語を正しく理解できないために、生活に必要な情報を得られなかったり、地域や職場、学校でうまく意思疎通がとれずに、困難や不利益を感じている人も少なくありません。

日本人も海外に行けば"外国人"です。多文化共生の第一歩として、日本人一人ひとりが、外国人とのコミュニケーションについて考えてみましょう。



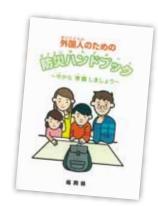
「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、尊重し合い、助け合いながら、ともに生きていく社会のことです。

「やさしい日本語」を活用してみよう

「やさしい日本語」とは、普段使う日本語よりも簡単で、外国人にも分かり やすいように配慮した日本語のことです。

平成7年の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく、多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を得ることができない人もいました。災害時など緊急の場合は、短時間に複数の言語を翻訳することは難しく、「誤訳」が生じる可能性もあります。そこで、災害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために、弘前大学の社会言語学研究室が提案したのが「やさしい日本語」です。

地域のお知らせや広報、チラシなど、日常生活で「やさしい日本語」を活用することで、幅広い国籍の外国人に情報を提供できます。また、「やさしい日本語」の活用が外国人の日本語習得にもつながり、生活の利便性も高めるといわれています。



福岡県が作成している「外国人のための防災ハンドブック」にも"やさしい日本語"が活用されています。

やさしい日本語の作り方

- ・簡単な言葉を使う (目安は小学2・3年生で習う言葉)
- 漢字にはふりがなをつける
- ・文は短く、文節に区切りを入れる
- ・あいまいな表現を避ける
- ・二重否定の表現を避ける
- ・文末はなるべく統一する
- ・外来語やカタカナはなるべく避ける

普段の日本語	やさしい日本語
参観日は出席しますか。	まり かまり から まり まり まり まり まり まり まり できょう から できょう から あります。 できます から できます から できます から できますか あります。 かっと
ごみは分別し て指定日に出 してください。	ごみは 分ける きまりが あります。ごみ を 出す日は 決まって います。
迅速な避難が 必要です。	^{はや} に 早く 逃げて ください。 ^{はや ひなん} ひっょう (早い 避難が 必要です)

「やさしい日本語」に正解はありません。 その人にとって必要な情報が伝わるよう工夫することが大切です。

